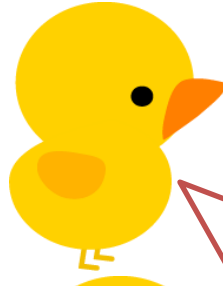
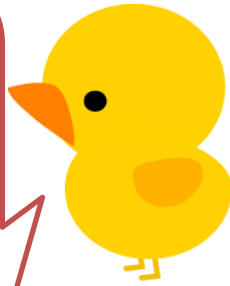


高学年におすすめの本

アンジェロ【ほるぷ出版】

(著)デビッド マコーレイ
(訳)千葉茂樹

古い教会を修復していたアンジェロじいさんは、傷ついた鳩に出会う。老いてゆくアンジェロとそれを見守り励ます鳩。相手を思いやる優しさと、生を全うする姿が清々しい絵本です。

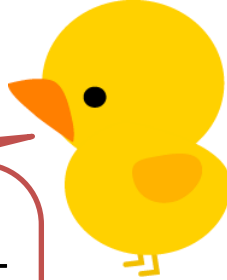


ぼくを探しに(The Missing Peace)【講談社】

(作)シルヴァスタイン (訳)倉橋由美子

～出会いを求めてはるかな小さな愛の旅～

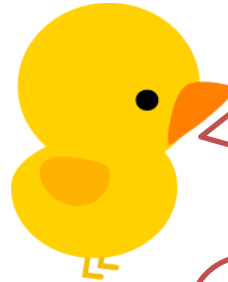
だめな人とだめでない人のために卒業を控えた子供達へお薦めの本です。中学生になり、新しい環境で新しい出会いを通して、自分について考え始める彼らに、悩んだ時の助けになればという思いで読みます。英語版もあり、中学生でも読めるので元版を読んで自分なりに解釈するのも楽しいよとも話しています。



風をつかまえたウィリアム【さ・え・ら書房】

(文)ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミーラー
(絵)エリザベス・ズーノン (訳)さくまゆみこ

2001年、日照りでトウモロコシが育たず、飢餓に襲われたマラウイ。図書館で科学の本に出会った14歳のウィリアムは、独学で英文を読み解き「ゴミ」から風車を作り上げる!!発電を成し遂げた実話です



たくさんのドア【主婦の友社】

(文)アリスン・マギー (絵)ユ・テウン
(訳)なかがわちひろ

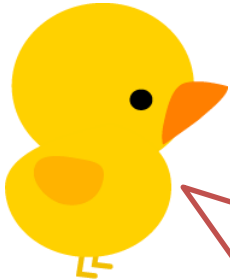
子どもたちの前に並ぶたくさんの未来へのドアは決してラクで楽しい事ばかりが待っているわけではないけれど、恐れずにたくさんのドアを開けてほしい、そんな親心がつまっています。

新しい世界への扉を開けようとしている子どもたちに贈りたい一冊です。

モリス・レスモアとふしぎな空とぶ本【徳間書店】

(作・絵)ウィリアムジョイス (訳)おびかゆうこ

2012年アカデミー賞短編アニメーション賞受賞作の絵本版。世界中の本好きに贈る、本への愛にみちたファンタジックで優しく切ない物語。



「けんぼう」のおはなし【講談社】

(原案)井上ひさし

(絵)武田美保

井上ひさしさんが実際に行った、小学校での授業を、再現した絵本です。

「きみは世界でたったひとり。

だれともとりかえがきかない。だから、だいじ。一人ひとり、みんなだいじなのです。」

